



「AJCクリエイターズコンテスト」で特別奨励賞を受賞した

はちや
八谷 美津子さん
(松岡)



刺

しゅうグループ「樹林の会」を主宰する、刺しゅうアーティストの八谷美津子さん。AJCクリエイターズコンテスト（手芸作品の全国大会）2015で特別奨励賞を受賞し、ことは入選を果たしました。また、昨年イタリアで開催された「ミラノ国際博覧会」にも作品を出展しました。

「平成23年から、富士山をモチーフにした作品を出展しています。始めは、富士山の世界文化遺産登録に少しでも力になればという気持ちでしたが、世界文化遺産になった今は、1人でも多くの人に富士山の魅力を伝えたいの思いから制作を続けています」と話します。

「刺しゅうは小学4年生のときに、

隣家の女性がアメリカから持ち帰ったいろいろな種類の刺しゅうや糸を見て、見よう見まねで始めました。当時見せてもらった刺しゅうを超えたいという思いで50年以上続けています」と笑顔で語ってくれました。

八谷さんの作品は6月19日(日)に市役所2階で開催される「かがやけ富士山」14ページ参照で展示される予定です。



特別奨励賞を受賞した「世界文化遺産 頂上めざして3776針」



浮島ヶ原自然公園が全国一の群生地である

ナヨナヨワスレナグサ



湿

原の貴重な植物を間近で観察できる浮島ヶ原自然公園では、7月初めまでムラサキ科の「ナヨナヨワスレナグサ」を楽しむことができます。

3月ごろに葉を出し、高さ50〜60センチメートルほどにまで成長すると、茎の先に直径わずか3ミリメートルほどの青色の花を咲かせます。

「富士自然観察の会」会長の山田高さん(富士岡)は、「ナヨナヨワスレナグサは、ほかの植物にもたれかかって育つためこのような名前がつけました。これまで、浮島ヶ原だけに生育していると考えられていましたが、最新の研究では、ヨーロッパ原産の帰化植物ではないかと言われています。浮島ヶ原ではあまり帰化植物は育ちませ

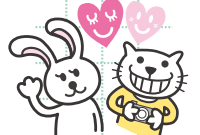


浮島ヶ原自然公園のナヨナヨワスレナグサ

んが、この花にとってはこの環境が合っているのだと思います。ナヨナヨワスレナグサの場合、ほどよく日光を遮るアシなどの高く伸びる植物、湿り気のある土、愛鷹山から流れる水などさまざまな要因が組み合わさり、育っているんですよ」と話してくれました。今が見ごろのナヨナヨワスレナグサを見に行ってみてはいかがでしょうか。

HAPPY PHOTO'S

我が家の
アイドル



柏木 葵ちゃん (瓜島町)
H27.6.6生

「ヘアバンド、似合っているよ！」



斎藤 穂香ちゃん (松岡)
H27.8.4生

「おさんぽ気持ちいいネ♪」



田中 悠翔ちゃん (北松野)
H27.5.24生

「いっぱい遊んで、たくさん食べて大きくなーれ！」

★我が家のアイドル大募集!!

あなたの子どもの写真(顔全体が写っている横写真)とコメントを

大募集!!詳しくは広報広聴課まで。

☎(55)2700 ☎(51)1456

✉ kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp